

## 「県立高校に関する調査（学校調査）」の結果について

平成 29 年 9 月実施

## 調査対象と回答数

- (1) 中学校 2 年生 1, 736 人【公立中学校 58 校を抽出し, 各校 2 年 1 組の生徒】  
(対象 1, 762 人, 回収率 99%)
- (2) 高校 2 年生 1, 442 人【県立高校 78 校の各校指定の学科から 20 名】  
(対象 1, 497 人, 回収率 96%)
- (3) 公立中学生の保護者 828 人【公立中学生の保護者: オンライン調査】
- (4) 県立高校生の保護者 628 人【県立高校生の保護者: オンライン調査】
- (5) 中学校進路指導教員 200 人【分校を除く全公立中学校 200 校の進路指導教員】  
(対象 200 人, 回収率: 100%)
- (6) 県立高校教員 229 人【全県立高校 78 校から各 3 人】  
(対象 234 人, 回収率 98%)

※無効回答は集計に含めていない。

## 1 あなたの性別を教えてください。【中学生, 高校生, 中保, 高保】

	中学生		高校生		中保		高保		合計	
男	884	50.9%	735	51.0%	128	15.5%	111	17.7%	1,858	40.1%
女	852	49.1%	707	49.0%	700	84.5%	517	82.3%	2,776	59.9%
計	1,736	100.0%	1,442	100.0%	828	100.0%	628	100.0%	4,634	100.0%

## 2 あなたのお住まいを教えてください。【中学生, 高校生, 中保, 高保】

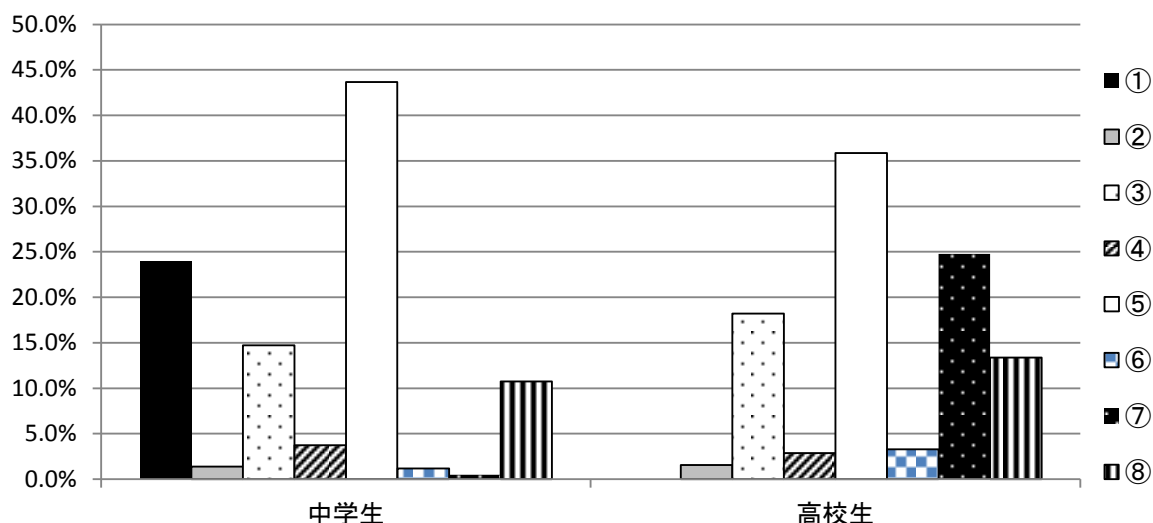
	中学生		高校生		中保		高保		合計	
①仙南地区	316	18.2%	178	12.4%	51	6.2%	49	7.8%	594	12.8%
②仙台市	483	27.8%	351	24.4%	331	40.0%	257	40.9%	1,422	30.7%
③仙台市を除く 仙塩地区	351	20.2%	241	16.7%	175	21.1%	139	22.1%	906	19.6%
④大崎地区	208	12.0%	213	14.8%	79	9.5%	60	9.6%	560	12.1%
⑤栗原地区	54	3.1%	84	5.8%	8	1.0%	14	2.2%	160	3.5%
⑥登米地区	70	4.0%	84	5.8%	79	9.5%	20	3.2%	253	5.5%
⑦石巻地区	170	9.8%	175	12.1%	68	8.2%	64	10.2%	477	10.3%
⑧気仙沼・本吉地区	84	4.8%	112	7.8%	37	4.5%	24	3.8%	257	5.5%
⑨県外	0	0.0%	3	0.2%	0	0.0%	1	0.2%	4	0.1%
計	1,736	100.0%	1,441	100.0%	828	100.0%	628	100.0%	4,633	100.0%

3 あなたは、どの学校段階まで進学したいですか。【中学生、高校生】

(1つ選択)

	中学生		高校生		合計	
①高校まで	416	24.0%	-	-	416	13.2%
②高等専門学校まで	24	1.4%	22	1.5%	46	1.5%
③専門学校まで	256	14.7%	259	18.2%	515	16.3%
④短大まで	65	3.7%	41	2.9%	106	3.4%
⑤大学まで	758	43.7%	509	35.8%	1,267	40.1%
⑥大学院まで	21	1.2%	47	3.3%	68	2.2%
⑦進学はしない	9	0.5%	352	24.8%	361	11.4%
⑧わからない/決めていない	187	10.8%	190	13.4%	377	11.9%
計	1,736	100.0%	1,420	100.0%	3,156	100.0%

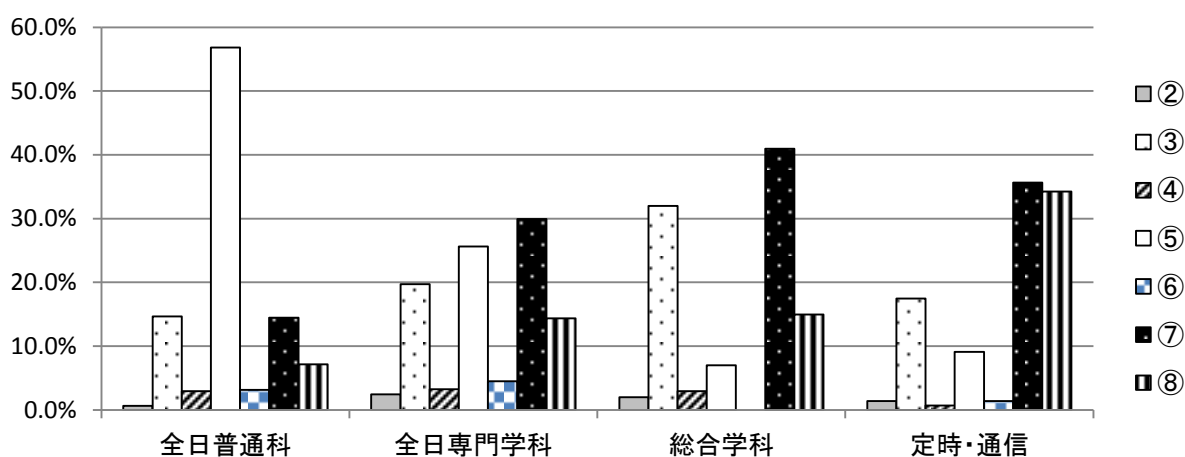
※高校生の専攻科は集計に含めていない。



○中学生、高校生ともに「⑤大学まで」の回答が最も多く中学生で43.7%、高校生で35.8%を占めた。続いて、中学生「①高校まで」、高校生「⑦進学はしない」の回答がそれぞれ24.0%、24.8%を占めた。

(参考) 高校生の主な課程学科別の進学等の希望

	全日普通科		全日専門学科		総合学科		定時・通信		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①高校まで	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②高等専門学校まで	4	0.7%	14	2.4%	2	2.0%	2	1.4%	22	1.5%
③専門学校まで	88	14.7%	114	19.8%	32	32.0%	25	17.5%	259	18.2%
④短大まで	18	3.0%	19	3.3%	3	3.0%	1	0.7%	41	2.9%
⑤大学まで	341	56.8%	148	25.6%	7	7.0%	13	9.1%	509	35.8%
⑥大学院まで	19	3.2%	26	4.5%	0	0.0%	2	1.4%	47	3.3%
⑦進学はしない	87	14.5%	173	30.0%	41	41.0%	51	35.7%	352	24.8%
⑧わからない/決めていない	43	7.2%	83	14.4%	15	15.0%	49	34.3%	190	13.4%
計	600	100.0%	577	100.0%	100	100.0%	143	100.0%	1,420	100.0%

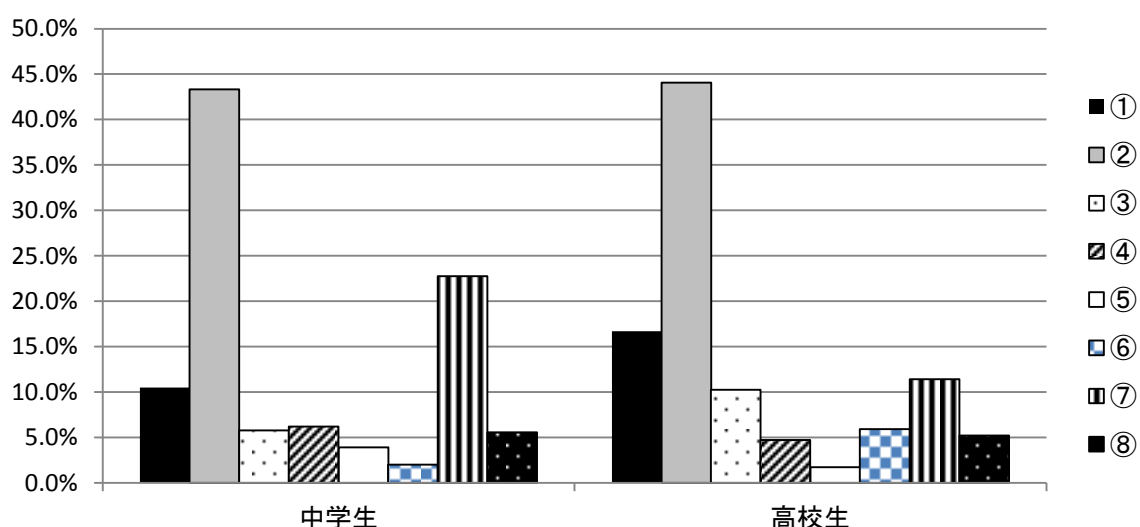


○高校生の主な課程学科別（全日制普通科，全日制専門学科，総合学科，定時・通信課程）にみると，全日制普通科では「⑤大学まで」の回答が 56.8%と最も多かった。一方で全日制専門学科，総合学科，定時・通信課程では，「⑦進学はしない」の回答がそれぞれ 30.0%，41.0%，35.7%となり，最も多かった。

4 3の回答理由について、あなたの考えに近いものをお選びください。【中学生，高校生】

(1つ選択)

	中学生		高校生		合計	
①自分が望んでいる知識を習得したいから	181	10.5%	234	16.7%	415	13.3%
②自分が望んでいる職業に就きたいから	748	43.3%	618	44.1%	1,366	43.7%
③早く社会に出たいから	100	5.8%	144	10.3%	244	7.8%
④資格を取りたいから	107	6.2%	66	4.7%	173	5.5%
⑤親や先生に言われているから	67	3.9%	24	1.7%	91	2.9%
⑥家計の状況から考えて適切だから	35	2.0%	83	5.9%	118	3.8%
⑦明確な理由はないが、必要と思うから	393	22.8%	160	11.4%	553	17.7%
⑧その他	96	5.6%	73	5.2%	169	5.4%
計	1,727	100.0%	1,402	100.0%	3,129	100.0%



○中学生，高校生ともに「②自分が望んでいる職業に就きたいから」の回答が最も多く中学生で43.3%，高校生で44.1%を占めた。続いて，中学生では「⑦明確な理由はないが，必要と思うから」が22.8%，高校生では「①自分が望んでいる知識を習得したいから」が16.7%を占めた。

(その他の主な回答)【質問3にて中学生：①高校まで，高校生：⑦進学はしないの回答者】

**中学生**

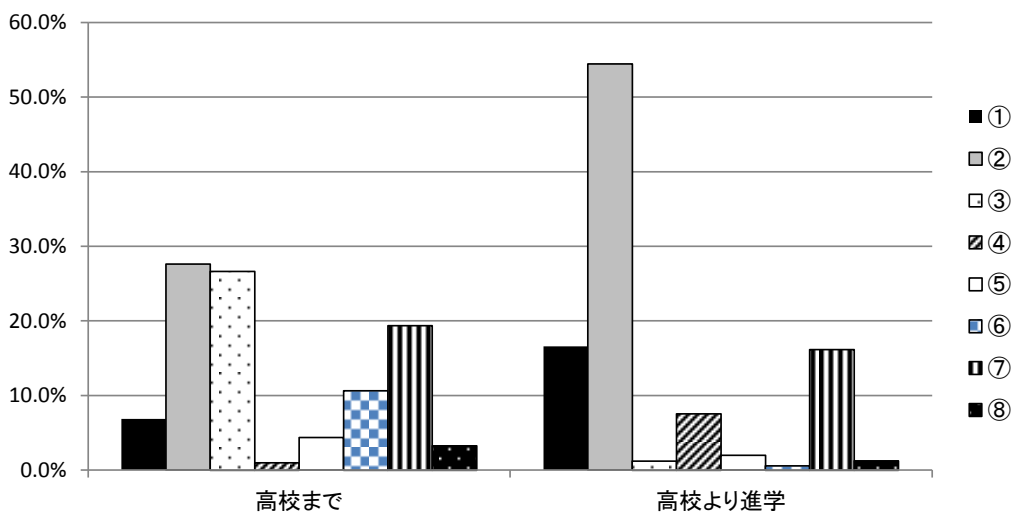
- ・特に決まっていない。 ・就く職業が決まっている。 ・早く働きたいから。
- ・早く仕事をしたいが，高校に行ったほうがよいと思うから。
- ・なりたい職業は，高校まででよいと思うから。
- ・大学は面倒くさいから。 ・進学できるかどうか分からないから。

**高校生**

- ・明確な理由はない。 ・就職希望だから。 ・自分が好きなことをするため。
- ・勉強をしたくないから。 ・進学する理由がないから。 ・市外に通うのが面倒だから。
- ・お金がかかるから。

(参考) 進学希望別(「高校まで」と「大学等まで進学」別)の理由

	高校まで (質問3にて中学生の① 及び高校生の⑦選択者)		大学等まで進学 (質問3にて②～⑥選 択者)	
①自分が望んでいる知識を習得したいから	52	6.9%	332	16.6%
②自分が望んでいる職業に就きたいから	209	27.6%	1,090	54.4%
③早く社会に出たいから	202	26.7%	25	1.2%
④資格を取りたいから	8	1.1%	152	7.6%
⑤親や先生に言われているから	33	4.4%	40	2.0%
⑥家計の状況から考えて適切だから	81	10.7%	13	0.6%
⑦明確な理由はないが、必要と思うから	147	19.4%	324	16.2%
⑧その他	25	3.3%	26	1.3%
計	757	100.0%	2,002	100.0%



○進学希望別(質問3の①と高校生の⑦:【高校まで】、②～⑥:【大学等まで進学】)にみると、「②自分が望んでいる職業に就きたいから」は【高校まで】では 27.6%、【大学等まで進学】では 54.4%の回答となった。

○【大学等まで進学】では「⑥家計の状況から考えて適切だから」の回答がわずか 0.6%であることに對して、【高校まで】では 10.7%となり、差がみられた。

(その他の主な回答)【質問3にて大学等まで進学(②高等専門学校～⑥大学院)の回答者】

**中学生**

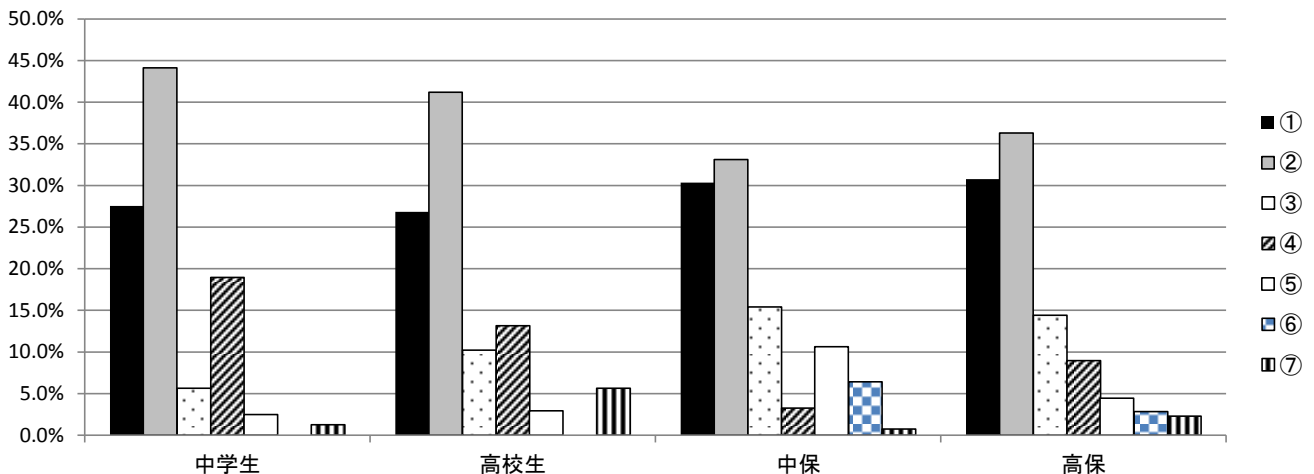
- ・特に考えていない。 ・まだ夢が決まっていないから。 ・スポーツを続けるため。
- ・自分が就きたい職を探したいから。 ・選べる職業の幅を広げるため。
- ・職に就くためにも最低限度の学力を付けておきたいから。
- ・大卒がいいから。 ・就職で有利になるから。 ・会社に入りやすいから。
- ・安定した収入を得たいから。

**高校生**

- ・大学での生活が楽しそうだから。 ・将来の収入のため。 ・スポーツを続けるため。
- ・大学を出たという事実がほしいから。 ・働きたくないから。

- 5・あなたが県立高校を選ぶとしたらどのようなことを重視しますか。【中学生】（1つ選択）
- ・あなたが高校を選ぶ時に重視したことは何ですか。【高校生】（1つ選択）
  - ・お子様が県立高校を選択する際にはどのようなことを重視しますか。【中保】（2つまで選択）
  - ・お子様の高校選択の際にはどのようなことを重視しましたか。【高保】（2つまで選択）

	中学生		高校生		中保		高保		合計	
①高校卒業後の進学や就職等の進路	478	27.5%	385	26.8%	471	30.3%	333	30.7%	1,667	28.7%
②自分(子ども)の学力のレベル	766	44.1%	591	41.2%	514	33.1%	393	36.3%	2,264	39.0%
③日々の通学(通学時間・安全性)	98	5.6%	147	10.2%	239	15.4%	156	14.4%	640	11.0%
④部活動や学校生活の充実度	329	19.0%	189	13.2%	51	3.3%	97	9.0%	666	11.5%
⑤通学費など高校進学にかかる費用	43	2.5%	42	2.9%	165	10.6%	48	4.4%	298	5.1%
⑥子どもの特性への対応や相談体制の充実度	-	-	-	-	100	6.4%	31	2.9%	131	2.3%
⑦その他	22	1.3%	81	5.6%	12	0.8%	25	2.3%	140	2.4%
計	1,736	100.0%	1,435	100.0%	1,552	100.0%	1,083	100.0%	5,806	100.0%



○全体では「②自分(子ども)の学力のレベル」の回答が39.0%を占め、最も多かった。続いて、「①高校卒業後の進学や就職等の進路」の回答が28.7%となった。

○「④部活動や学校生活の充実度」の回答は中学生で19.0%、高校生で13.2%を占めた一方、保護者では10%未満で差が見られた。

○「③日々の通学(通学時間・安全性)」については高校生で10.2%、中学生保護者が15.4%、高校生保護者が14.4%とそれぞれ10%を超えているが、中学生では5.6%と、回答率に差がみられた。

※「⑥子どもの特性への対応や相談体制の充実度」については、保護者のみに設けた回答肢である。

(その他の主な回答)

#### 中学生

- ・特にない(4) ・制服(3) ・校舎 ・学校の特色 ・高校のレベルの高さ。
- ・留学できるか ・宿題の量 ・学校生活の充実 ・アルバイトができるかどうか。
- ・望んでいる仕事に就けるか。 ・将来の役に立つか。 ・進路と自分の学力に適しているか。
- ・費用が高くないところ。

#### 高校生

- ・特にない(9) ・親や先生の勧めや意見(3) ・学校の評判(2) ・制服(2) ・校訓
- ・学びたい学科等(美術, 英語, 看護, 家政科他) ・専門的なことが学べるか。
- ・資格取得 ・学習内容や学習スタイル。 ・学習時間 ・人間関係の安定 ・教室エアコン
- ・不登校 ・修学旅行の行き先 ・地元だから。 ・友人に誘われたから。
- ・知人と会わないこと。 ・地元の高校には行きたくなかった。
- ・あこがれの先輩が入ったから。 ・目的があったから。 ・受験の手間がない。
- ・アルバイトができるかどうか。 ・ここしかなかった。

#### 中学生保護者

- ・本人の希望(2) ・学習環境 ・学校内の治安 ・子供の資質や特性に合った校風。
- ・生徒や教師の様子 ・高校卒業後の進路に関わる部分で, 生徒への授業内容の充足度・定着度。
- ・生徒の自主性を尊重しているかどうか。 ・強制的な部活がないこと。
- ・小学校からの友達がいるから。
- ・身につけることのできる専門的な分野の学習とそこからつながる進路や職業・就職先について。

#### 高校生保護者

- ・本人の希望(13) ・名声, 高い学力, 校風, 等(2) ・自己再生
- ・将来なりたい職業の勉強ができること。 ・親を頼らず通学できる学校。

6・あなたは、中学生が進学する県立高校を選ぶ際に、どのようなことを重視して指導しますか。

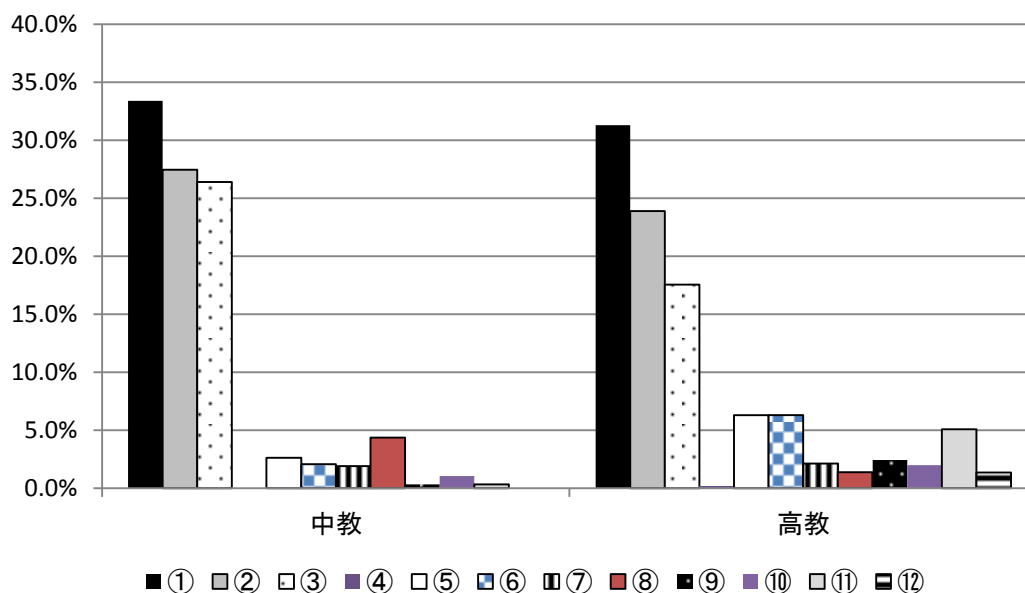
【中教】

・あなたは、中学生が進学する高校を選ぶ際に、どのようなことを重視するべきだと思いますか。

【高教】

(3つまで選択)

	中教		高教		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①生徒の希望する進路につながるか	191	33.4%	203	31.3%	394	32.3%
②生徒の学びたいことが学べるか	157	27.4%	155	23.9%	312	25.6%
③生徒の学力に合っているか	151	26.4%	114	17.6%	265	21.7%
④友人同士が入学を希望しているかどうか	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%
⑤生徒の自宅から通学が便利か	15	2.6%	41	6.3%	56	4.6%
⑥生徒の希望する部活動があるか	12	2.1%	41	6.3%	53	4.3%
⑦自分のペースで学習できるか	11	1.9%	14	2.2%	25	2.0%
⑧生徒の親や他の先生の意見	25	4.4%	9	1.4%	34	2.8%
⑨学校の評判	2	0.3%	16	2.5%	18	1.5%
⑩通学費などの経費	6	1.0%	13	2.0%	19	1.6%
⑪施設・設備が整っているか	2	0.3%	33	5.1%	35	2.9%
⑫その他	0	0.0%	9	1.4%	9	0.7%
計	572	100.0%	649	100.0%	1,221	100.0%



○中学教員高校教員ともに、「①生徒の希望する進路につながるか」の回答が最も多く、続いて「②生徒の学びたいことが学べるか」、「③生徒の学力に合っているか」となった。



(その他の主な回答)

**高校教員**

- ・希望する学校の指導体制や校風，力を入れている点にマッチしているかどうか。
- ・将来に向けて，人間力＝生きる力（例，創造性・協調性・公共心など）が広い視野で身につけられるかどうか。
- ・学校に応じた教員の指導力。
- ・進学後に本人側と学校側において問題なく続けられる程度の，高校側が要求する希望の生徒像に当てはまること。
- ・高校での学習内容と生徒の学びたいことが合っているか。
- ・高校卒業後の目先の進路先ではなく，一生も視野に入れ，きちんと現実の労働・雇用等をきちんと学ぶことのできるキャリア教育ができている高校。
- ・多様な進路や希望の変更に対応できること。

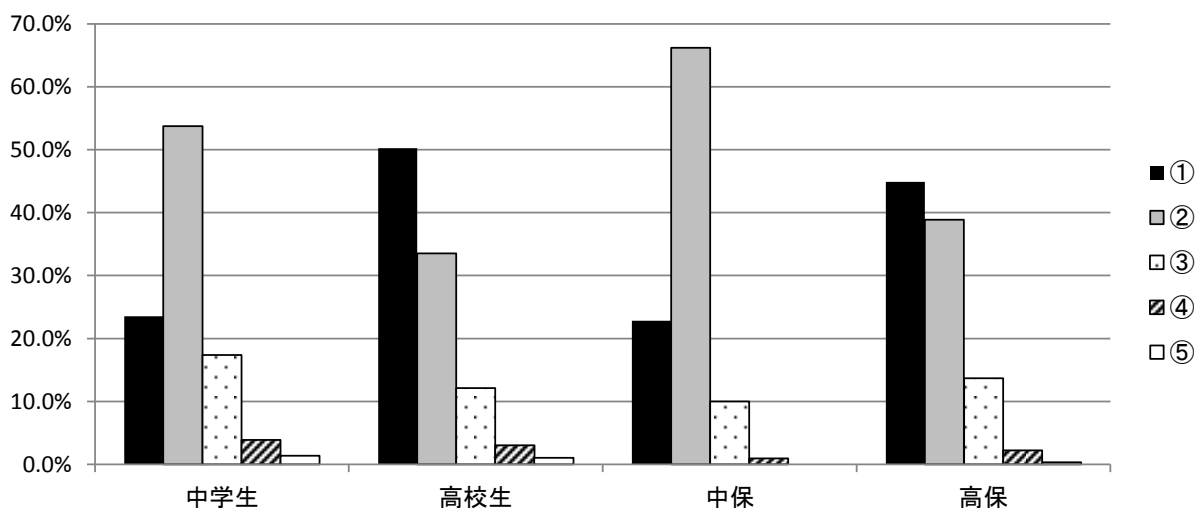
7・あなたが高校に進学する場合、どのくらいの時間なら通学にかかってもよいと考えますか。

【中学生】

- ・あなたの通学時間はどのくらいですか。【高校生】
- ・あなたのお子様が高校に進学する場合、どのくらいの通学時間なら許容できますか。【中保】
- ・お子様の通学時間はどのくらいですか。【高保】

(1つ選択)

	中学生		高校生		中保		高保		合計	
①片道30分以内	408	23.5%	724	50.2%	189	22.8%	282	44.9%	1,603	34.6%
②片道1時間以内	932	53.7%	483	33.5%	548	66.2%	244	38.9%	2,207	47.7%
③片道1時間半以内	302	17.4%	175	12.1%	83	10.0%	86	13.7%	646	13.9%
④片道2時間以内	68	3.9%	44	3.1%	8	1.0%	14	2.2%	134	2.9%
⑤片道2時間超	24	1.4%	15	1.0%	0	0.0%	2	0.3%	41	0.9%
計	1,734	100.0%	1,441	100.0%	828	100.0%	628	100.0%	4,631	100.0%



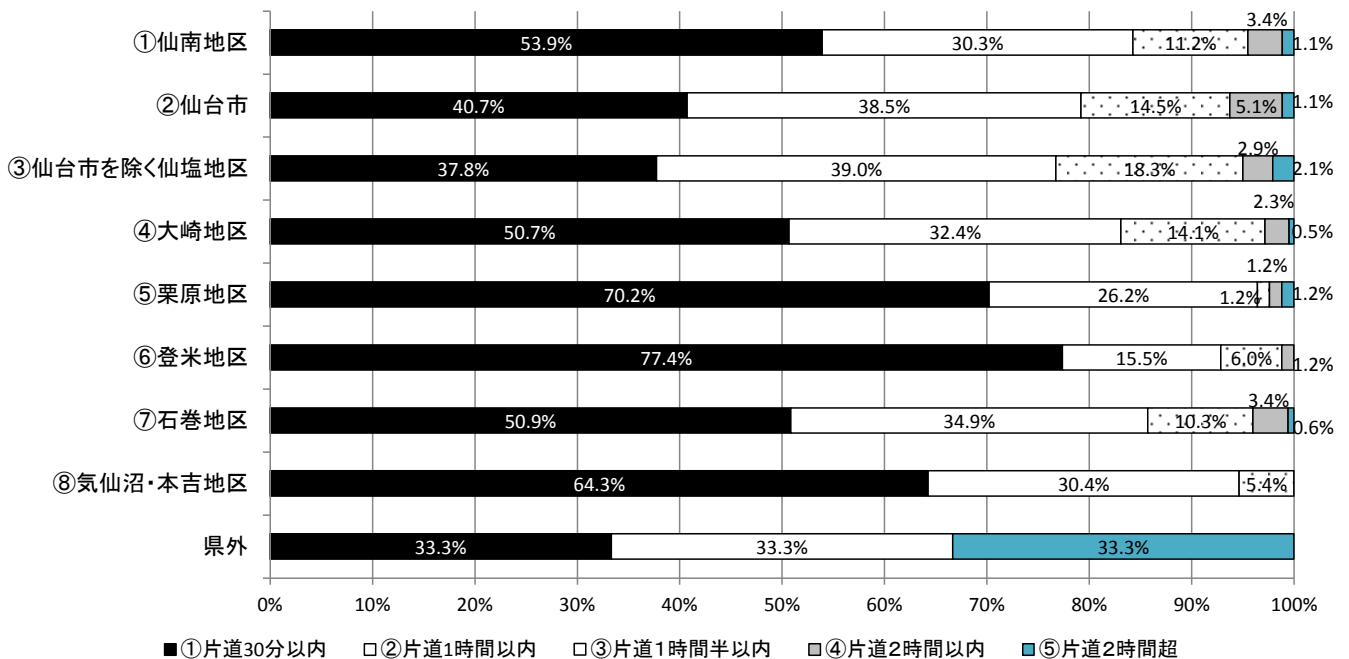
○「許容できる通学時間」については、中学生、中学生保護者ともに「②片道1時間以内」の回答が最も多く、過半数を占めた。

○「現在の通学時間」については、高校生、高校生保護者ともに「①片道30分以内」の回答が最も多い。

※中学生及び中学生保護者には「許容できる通学時間」、高校生及び高校生保護者には「現在の通学時間」を質問している。

(参考) 高校生：居住地別の通学時間

	①仙南地区		②仙台市		③仙塩地区 (除仙台)		④大崎地区		⑤栗原地区	
①片道30分以内	96	53.9%	143	40.7%	91	37.8%	108	50.7%	59	70.2%
②片道1時間以内	54	30.3%	135	38.5%	94	39.0%	69	32.4%	22	26.2%
③片道1時間半以内	20	11.2%	51	14.5%	44	18.3%	30	14.1%	1	1.2%
④片道2時間以内	6	3.4%	18	5.1%	7	2.9%	5	2.3%	1	1.2%
⑤片道2時間超	2	1.1%	4	1.1%	5	2.1%	1	0.5%	1	1.2%
計	178	100.0%	351	100.0%	241	100.0%	213	100.0%	84	100.0%
	⑥登米地区		⑦石巻地区		⑧気仙沼・ 本吉地区		県外			
①片道30分以内	65	77.4%	89	50.9%	72	64.3%	1	33.3%		
②片道1時間以内	13	15.5%	61	34.9%	34	30.4%	1	33.3%		
③片道1時間半以内	5	6.0%	18	10.3%	6	5.4%	0	0.0%		
④片道2時間以内	1	1.2%	6	3.4%	0	0.0%	0	0.0%		
⑤片道2時間超	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	33.3%		
計	84	100.0%	175	100.0%	112	100.0%	3	100.0%		

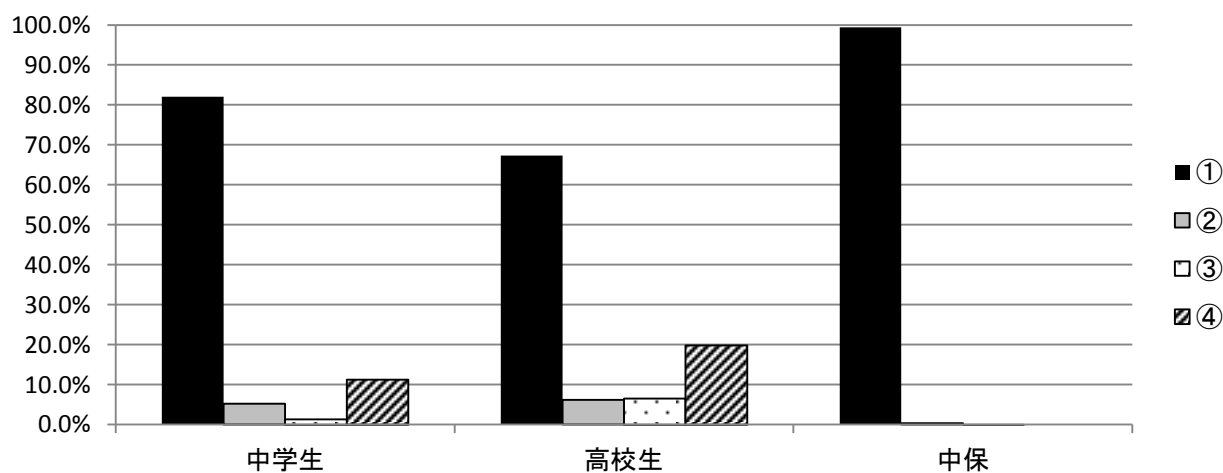


○居住地別に見ると、仙台市及び仙塩地区及び県外を除き、過半数以上が「①片道30分以内」となった。

- 8・あなたは県立高校を選ぶとしたら、どのような課程で学んでみたいですか。学びたいと考えている課程をお選びください。【中学生】
- ・あなたは選び直せるとしたらどの課程で学んでみたいですか。学びたいと考えている課程をお選びください。【高校生】
  - ・あなたはお子様にどのような課程で学ばせたいですか。学ばせたいと考えている課程をお選びください。【中保】

(1つ選択)

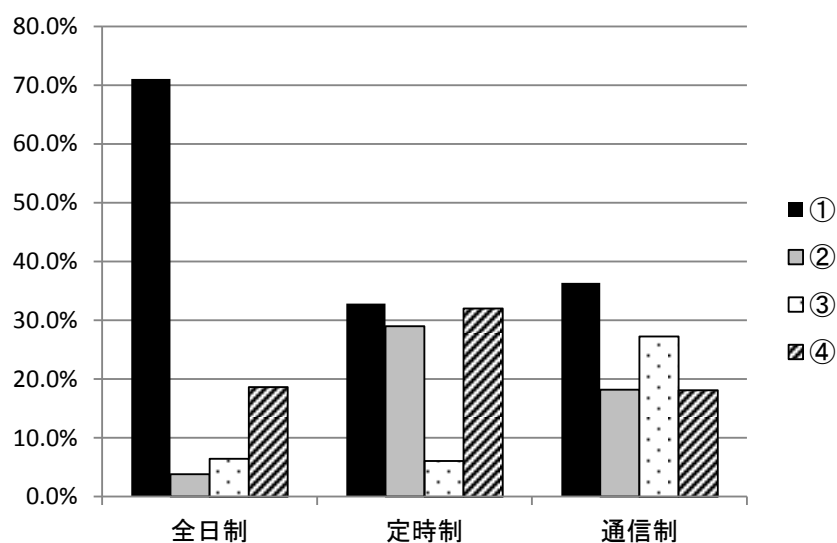
	中学生		高校生		中保		合計	
①全日制	1,424	82.1%	967	67.3%	823	99.4%	3,214	80.4%
②定時制	90	5.2%	89	6.2%	3	0.4%	182	4.6%
③通信制	24	1.4%	95	6.6%	2	0.2%	121	3.0%
④わからない	197	11.4%	286	19.9%	-	-	483	12.1%
計	1,735	100.0%	1,437	100.0%	828	100.0%	4,000	100.0%



○生徒、中学生保護者ともに「①全日制」の回答が最も多く、中学生で82.1%、高校生で67.3%、中学生保護者で99.4%が回答した。

(参考) 高校生：現在の課程と選び直せるとしたら学びたい課程

	現在の課程					
	全日制		定時制		通信制	
①全日制	920	71.0%	43	32.8%	4	36.4%
②定時制	49	3.8%	38	29.0%	2	18.2%
③通信制	84	6.5%	8	6.1%	3	27.3%
④わからない	242	18.7%	42	32.1%	2	18.2%
計	1,295	100.0%	131	100.0%	11	100.0%



○高校生について、現在の課程別にみると、現在全日制、定時制、通信制課程の生徒全てで「①全日制」の回答が最も高い結果となった。

- 9・あなたは県立高校を選ぶとしたら、どのような学科で学んでみたいですか。学びたいと考えている学科をお選びください。【中学生】
- ・あなたは選び直せるとしたらどの学科で学んでみたいですか。学びたいと考えている学科をお選びください。【高校生】
  - ・あなたはお子様にどのような学科で学ばせたいですか。学ばせたいと考えている学科をお選びください。【中保】
  - ・県立高校について、あなたはどのような学科の充実が必要だと思いますか。【高保、中教、高教】

(中学生、高校生、中保、高保、中教は3つまで選択、高教は記述)

	中学生		高校生		中保		高保		中教		合計	
普通科	1,274	36.9%	789	29.7%	742	44.4%	369	25.3%	140	25.9%	3,314	33.9%
農業系の学科	107	3.1%	122	4.6%	25	1.5%	82	5.6%	30	5.5%	366	3.7%
工業系の学科	293	8.5%	209	7.9%	155	9.3%	134	9.2%	61	11.3%	852	8.7%
商業系の学科	114	3.3%	146	5.5%	108	6.5%	76	5.2%	21	3.9%	465	4.8%
水産系の学科	41	1.2%	47	1.8%	4	0.2%	14	1.0%	3	0.6%	109	1.1%
家庭系の学科	101	2.9%	119	4.5%	25	1.5%	29	2.0%	2	0.4%	276	2.8%
看護系の学科	137	4.0%	125	4.7%	74	4.4%	121	8.3%	26	4.8%	483	4.9%
福祉系の学科	104	3.0%	124	4.7%	61	3.7%	165	11.3%	84	15.5%	538	5.5%
理数系の学科	218	6.3%	101	3.8%	126	7.5%	87	6.0%	41	7.6%	573	5.9%
体育系の学科	273	7.9%	181	6.8%	47	2.8%	18	1.2%	3	0.6%	522	5.3%
美術系の学科	102	3.0%	133	5.0%	23	1.4%	17	1.2%	0	0.0%	275	2.8%
外国語系の学科	118	3.4%	147	5.5%	110	6.6%	146	10.0%	50	9.2%	571	5.8%
災害科学系の学科	20	0.6%	37	1.4%	16	1.0%	38	2.6%	18	3.3%	129	1.3%
観光系の学科	29	0.8%	59	2.2%	5	0.3%	15	1.0%	5	0.9%	113	1.2%
デザイン系の学科	176	5.1%	194	7.3%	29	1.7%	20	1.4%	3	0.6%	422	4.3%
総合学科	289	8.4%	78	2.9%	98	5.9%	112	7.7%	46	8.5%	623	6.4%
その他	52	1.5%	46	1.7%	22	1.3%	13	0.9%	8	1.5%	141	1.4%
わからない	109	3.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	109	1.1%
計	3,448	100.0%	2,657	100.0%	1,670	100.0%	1,456	100.0%	541	100.0%	9,772	100.0%

○全体では、普通科の回答が最も多く、続いて工業系の学科が多い結果となった。

○高校生保護者及び中学校教員については福祉系や外国語系の学科の回答が多くなっている。

(その他の主な内容)

#### 中学生

- ・音楽（13） ・保育（5） ・理美容（5） ・動物（4） ・建築（3） ・医療
- ・アニメーション ・インテリア ・海洋生物学 ・カウンセリング ・韓国 ・公務員
- ・情報技術 ・生物 ・調理 ・鉄道 ・電子 ・ビジネス ・ファッション ・プログラマー
- ・法律系

#### 高校生

- ・音楽（8） ・理美容（5） ・声優（4） ・調理（2） ・保育（2） ・メディア（2）
- ・科学 ・建築 ・仕事 ・情報 ・心理学 ・鉄道 ・動物 ・バイク
- ・ファッション ・プログラマー学科 ・法学

#### 中学生保護者

- ・音楽（9） ・スポーツ科 ・産業技術 ・調理系の学科 ・保育 ・芸術 ・パソコンの操作
- ・実用外国語、プレゼンテーション能力、ディベート能力を高める。

#### 高校生保護者

- ・特別進学コース ・情報処理 ・土木建築 ・IT系 ・環境 ・ビジネス
- ・学び直し、キャリア教育に特化した学科。 ・時代に応じた就職に直結できる学科。
- ・環境系ビジネス系座学のみならず、必要性を認識させた上で、技能を身につけさせる。
- ・将来就職に役立つ学科の充実（人手不足・離職率が低くなるような教育の実践）。
- ・マナー等一般常識を学べる学科

#### 中学教員

- ・情報（3） ・音楽 ・調理 ・特色のある普通科
- ・自閉症など発達障害の生徒の生徒にも対応した学科
- ・アクティブな学習ができる内容のある学科

#### 高校教員

これからの高校教育にあなたはどのような学科の充実や新設が必要だと思いますか。（自由記述）

- ・既存学科の充実（73）  
（うち 普通科の充実（26）、福祉・看護系の学科の充実（7）、総合学科の充実（4）、調理系学科の充実（3））
- ・新たな学科及び特色ある学科の設置（96）  
（うち 地域構想系学科の設置（11）、国際系学科の設置（10）、情報系学科の設置（8）、探求科の設置（5）、日本文化を学ぶ学科の設置（4））
- ・現行のままで良い（21）
- ・その他（28）  
（うち 少人数制の採用（6）、学び直し等への対応（4）、単位制の充実（3）、ICT教育環境の充実（3）、特別支援教育の充実（2））

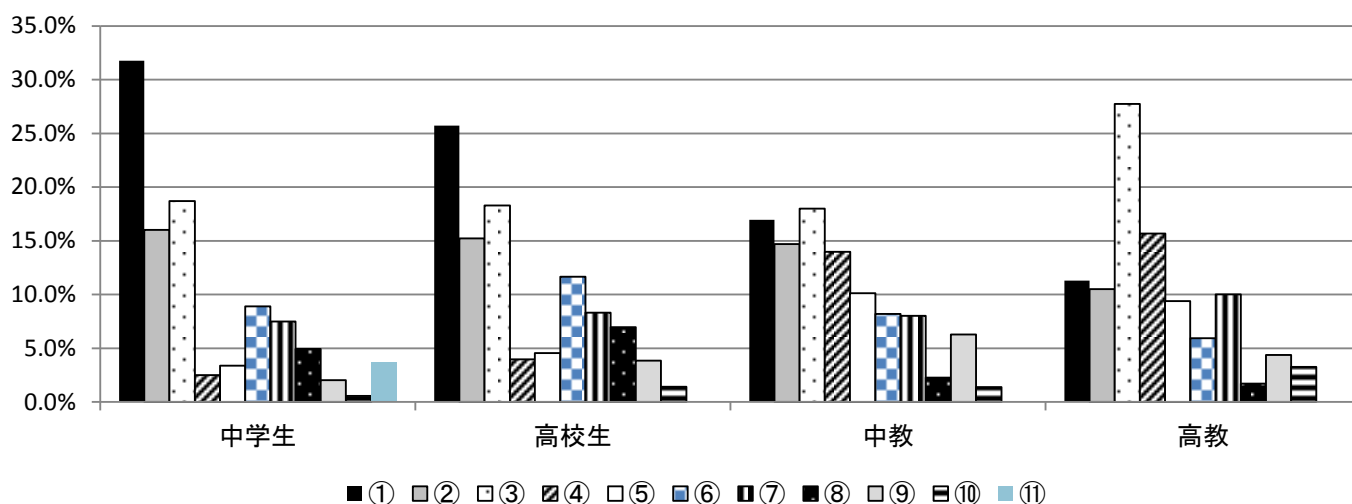
10・県立高校で学ぶとしたら、どのようなことを期待しますか。【中学生】

・県立高校での学習について、今後どのようなことを期待しますか。【高校生】

・県立高校での学習について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【中教，高教】

(3つまで選択)

	中学生		高校生		中教		高教		合計	
①就職に役立つ知識や技術に関する学び	1,183	31.8%	783	25.7%	97	17.0%	72	11.3%	2,135	26.8%
②大学受験に必要な学び	596	16.0%	464	15.2%	84	14.7%	67	10.5%	1,211	15.2%
③基礎学力の向上につながる学び	696	18.7%	557	18.3%	103	18.0%	177	27.7%	1,533	19.2%
④地域づくりなど地域の活性化につながる学び	94	2.5%	121	4.0%	80	14.0%	100	15.7%	395	5.0%
⑤世界で活躍できる人材育成につながる学び	126	3.4%	139	4.6%	58	10.1%	60	9.4%	383	4.8%
⑥パソコンやタブレットなど情報機器を使用した学び	332	8.9%	355	11.7%	47	8.2%	38	6.0%	772	9.7%
⑦実験や実習活動など実践的な学び	279	7.5%	253	8.3%	46	8.0%	64	10.0%	642	8.0%
⑧海外研修を取り入れた学び	184	4.9%	212	7.0%	13	2.3%	11	1.7%	420	5.3%
⑨企業研修を取り入れた学び	76	2.0%	117	3.8%	36	6.3%	28	4.4%	257	3.2%
⑩その他	22	0.6%	44	1.4%	8	1.4%	21	3.3%	95	1.2%
⑪わからない	136	3.7%	-	-	-	-	-	-	136	1.7%
計	3,724	100.0%	3,045	100.0%	572	100.0%	638	100.0%	7,979	100.0%



○中学生，高校生では，「①就職に役立つ知識や技術に関する学び」の回答が最も多く，続いて「③基礎学力の向上につながる学び」，「②大学受験に必要な学び」となった。

○中学教員，高校教員では，「③基礎学力の向上につながる学び」の回答が最も多く，続いて中学教員では「①就職に役立つ知識や技術に関する学び」，「②大学受験に必要な学び」と続き，高校教員では「④地域づくりなど地域の活性化につながる学び」，「①就職に役立つ知識や技術に関する学び」と続いた。

○「④地域づくりなど地域の活性化につながる学び」については，中学教員，高校教員で回答が14.0%（4位）15.7%（2位）に対して，中学生，高校生では，2.5%（9位）。4.0%（8位）となっている。



(その他の主な内容)

#### 中学生

- ・知識レベルが高い授業
- ・楽しく取り組める授業
- ・接客
- ・スポーツ
- ・メディアに関する学び
- ・将来生きていくための知識

#### 高校生

- ・コミュニケーション能力
- ・人間性の向上
- ・心の成長につながる学び
- ・生き方について
- ・職場体験
- ・専門的なことを学べること
- ・資格の獲得
- ・バイク
- ・それぞれの進路に合わせた授業
- ・自分の力を無理なく発揮
- ・必要な教科のみをやるべき。
- ・英語科とうたっている以上は数学などよりも英語の数を圧倒的に増やしてほしい。
- ・先生が生徒の話を最後まで聞いてくれること。
- ・皆が安心して卒業できる教育
- ・3年かからずに卒業できる制度

#### 中学教員

- ・大学と連携した学び
- ・学習を通じた人間的成長
- ・人格形成
- ・実学に加え、基礎的な教養
- ・自律的に学ぶ力
- ・コミュニケーション能力
- ・社会でも適応できる生きる力
- ・人づくりにつながる学び
- ・主体的で対話的な深い学びができる学習内容を継続的に行うこと。

(その他の主な内容)

### 高校教員

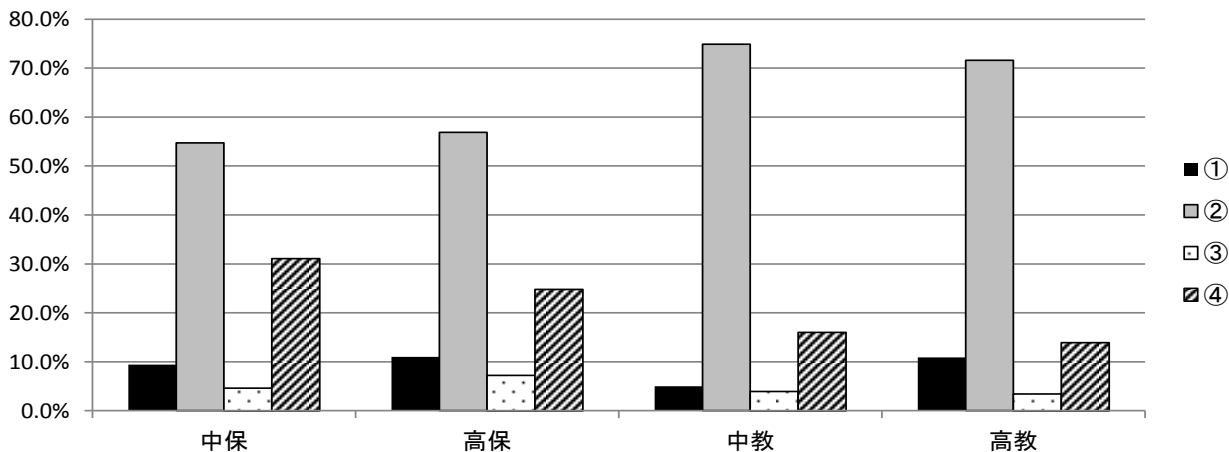
- ・考える土台となる教養，集団生活のための規律やマナー，今世界で何が起きているかや10年先の世界の描ける社会人＝国際人からの学び。
- ・単なる進路指導とは異なるキャリア教育の充実。
- ・高校卒業後の目先の進路先ではなく，一生も視野に入れ，きちんと現実の労働・雇用等をきちんと学ぶことのできるキャリア教育。
- ・将来の職業を見据えた教育（従来のキャリア教育の深化）
- ・高等教育終了後に独立して生きていくための技能やコミュニケーション能力。
- ・生きる力の育成。総合的な学習の時間でも良いのですが，より善く生きるため，他者との関わりの中で，学ぶ活動。
- ・実利にだけとらわれない，考える力を育む教育。
- ・学力テストで計れる学力（＝認知能力）だけではなく，「忍耐力」や「コミュニケーション能力」といった非認知能力の育成を図ることができる学び。
- ・自立や社交に関することを身につけさせる必要がある。
- ・基礎学力の定着。
- ・地域での当該高の特色と役割に合わせ，その目標達成のために力を注ぐ必要がある。
- ・これからの超高齢化社会を生きていく上で，「勉強」ではない「学習」。
- ・地域や社会に対してある仮説を設定し，自らその解決策を教科横断的に考え，自分の言葉で発信するような学び。
- ・歴史や宗教，経済，芸術など教養を深める学び。
- ・日本を含め，世界には，どのような産業があるのか，それらの産業はどのように成り立っているのか等の学び。
- ・就職試験や受験といった出口にとどまらず，社会で活躍できる人材としての能力・資質の形成。
- ・特定の技術・技能にこだわらない幅広く応用できる力。
- ・社会で活躍できる人材教育につながる学び。
- ・個々の現状をスモールステップで伸ばしてあげるような学びを導いてあげることが大事である。
- ・就職や大学進学に向けての学びなど，進路達成のための学び。

11 少子化への対応として、学級減や学校の再編統合を実施しているところですが、1学級40人としたときの高校の規模について、あなたが適正と思うものをお選びください。

【中保, 高保, 中教, 高教】

(1つ選択)

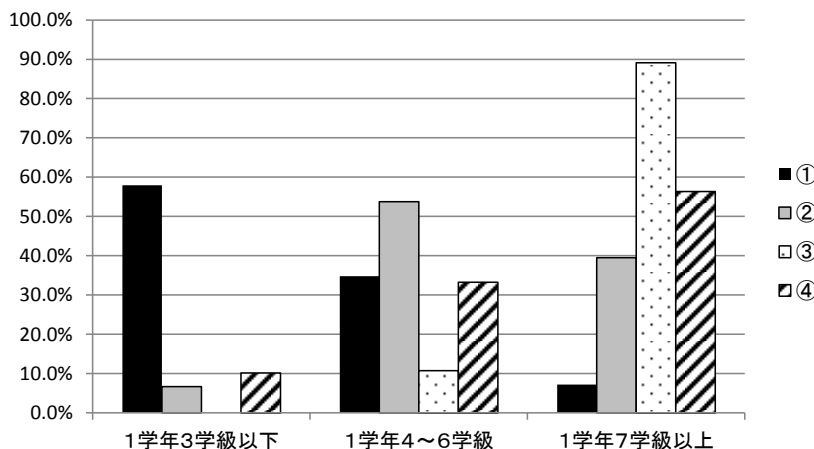
	中保		高保		中教		高教		合計	
①1学年3学級以下	78	9.4%	69	11.0%	10	5.0%	25	10.9%	182	9.7%
②1学年4～6学級	453	54.7%	357	56.8%	149	74.9%	164	71.6%	1,123	59.6%
③1学年7学級以上	39	4.7%	46	7.3%	8	4.0%	8	3.5%	101	5.4%
④何学級でもよい	258	31.2%	156	24.8%	32	16.1%	32	14.0%	478	25.4%
計	828	100.0%	628	100.0%	199	100.0%	229	100.0%	1,884	100.0%



○保護者, 教員ともに, 「②1学年4～6学級」の回答が最も多く, 続いて「④何学級でもよい」, 「①1学年3学級以下」となった。

(参考) 高校生保護者：現在の子どもの学校規模と適性と思う学校規模

	現在の子どもの学校規模						合計	
	1学年3学級以下		1学年4～6学級		1学年7学級以上			
①1学年3学級以下	40	58.0%	24	34.8%	5	7.2%	69	100.0%
②1学年4～6学級	24	6.7%	192	53.8%	141	39.5%	357	100.0%
③1学年7学級以上	0	0.0%	5	10.9%	41	89.1%	46	100.0%
④何学級でもよい	16	10.3%	52	33.3%	88	56.4%	156	100.0%

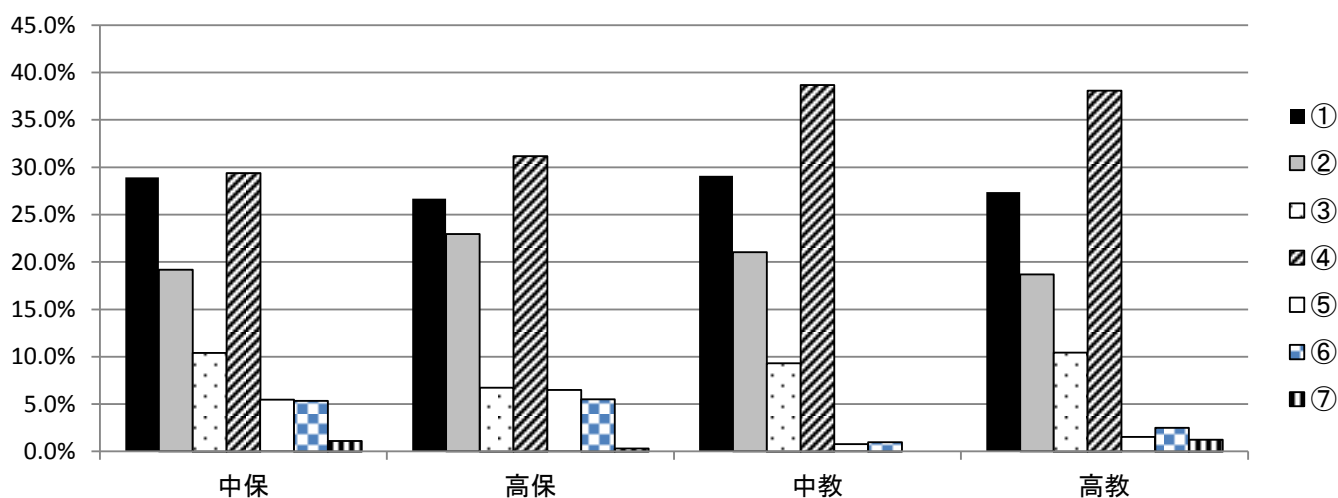


○高校生保護者について, 適正と思う学校規模別の回答状況をみると, 現在の子どもの通う学校規模に応じた回答が最も多くなっている。一方で, 7学級以上の学校に通う保護者の半数以上が, 「②1学年4～6学級」が適正と回答している。

12・全日制高校には学年制と単位制がありますが、このうち、単位制高校では、学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められます。単位制高校をより良くしていくためには、何が大事だと思いますか、あなたの考えに近いものをお選びください。【中保、高保、中教】

・単位制高校の学習について、あなたが重視するべきと思うものをお選びください。【高教】  
(2つまで選択)

	中保		高保		中教		高教		合計	
①自分の興味・関心のある教科の学習の充実	424	28.9%	284	26.7%	112	29.1%	107	27.4%	927	28.0%
②職業人として社会に参画するための実践的な学習の充実	281	19.2%	244	22.9%	81	21.0%	73	18.7%	679	20.5%
③国際交流や芸術教育など各高校に応じた特色のある学習の展開	153	10.4%	72	6.8%	36	9.4%	41	10.5%	302	9.1%
④自ら立てた進路目標に向かって自主的に単位を選択できる制度	431	29.4%	332	31.2%	149	38.7%	149	38.1%	1,061	32.1%
⑤難関大学を目指した学習内容の充実	80	5.5%	69	6.5%	3	0.8%	6	1.5%	158	4.8%
⑥クラブ活動や行事等の学校生活の充実	79	5.4%	59	5.5%	4	1.0%	10	2.6%	152	4.6%
⑦その他	17	1.2%	4	0.4%	0	0.0%	5	1.3%	26	0.8%
計	1,465	100.0%	1,064	100.0%	385	100.0%	391	100.0%	3,305	100.0%



○保護者、教員ともに、「④自ら立てた進路目標に向かって自主的に単位を選択できる制度」の回答が最も多く、続いて「①自分の興味・関心のある教科の学習の充実」、「②職業人として社会に参画するための実践的な学習の充実」となった。

## (その他の主な内容)

### 中学生保護者

- ・自らの目標や進路に沿って自由に学びつつも、自由すぎて生徒が落ちこぼれたりせずに能力を引き出るよう、しっかりとした指導や管理もしてくれる体制。
- ・何単位取れているか、こまめに生徒と保護者に連絡すること。
- ・自分の将来の夢の実現にはどんな教科の取得が必要なのかを把握できていない生徒が多いので、単位制について分かりやすく説明する必要性と、単位修得に対する相談窓口を常時準備しておく。
- ・柔軟なカリキュラムと教師・管理職・教育委員会の質の向上。
- ・基本的に高校は文武両道が望ましいと思う。その上で、単位制をとるならば、ドイツのように職業を見越したものを考えるべきだ。
- ・本人の興味に偏らないバランスのとれた課程。
- ・高校は義務教育に近いので、単位制にする場合でも、広く浅い画一的な教育も必要。自分の興味ある教育だけ受講するのはどうかと思う。
- ・教科選択の際の説明の丁寧さ、習熟度別の授業。
- ・日本は単位制で卒業しても、数え 19 歳じゃないと大学受験できないから意味が無い。アメリカのように、若年でも優秀な子は、どんどん進学できるようにすべき。
- ・人として…といった部分にもきちんと目を向けられている事が理想と考える。
- ・特性も大事だが、偏った単位取得とならないような指導。
- ・選択で悩むぐらい種類が欲しい。

### 高校生保護者

- ・単位制とはいえ、受けたい授業の取り方に縛りがあり、受講できないこともある。どこまで選択できるのかが入学時点での話と食い違っていたので、充実させるためにも適切な説明が必要。
- ・不登校や病弱児など、少人数できめ細かい指導が必要な生徒に対応できること。
- ・先生との信頼関係と生きるためにすることの意味を考えさせること。

### 高校教員

- ・生徒の学習意欲を高めたり生徒のニーズに幅広く応えられる教育課程の充実。
- ・ここで何を学ぶのか。学んだことをどのように生かすのか。入学する前に出願理由を問うてみたい。この高校ではカリキュラムや定員にこだわる必要はなく、生徒に自発的な学びの場を提供する位の意識でよいと思う。
- ・好きな科目、必要な科目にとらわれすぎないように、各教科バランスよく学ぶ選択をする仕組みにする必要があると思う。
- ・高校卒業後の目先の進路先ではなく、一生も視野に入れ、きちんと現実の労働・雇用等をきちんと学ぶことのできるキャリア教育。
- ・多様な生き方の選択。

13・定時制高校は、主に働きながら学ぶために設置された学校で、原則4年を修業年限とし、昼間や夜間の時間帯に学習を行っています。定時制高校をより良くしていくために、これからの定時制高校の役割について、あなたの考えに近いものをお選びください。

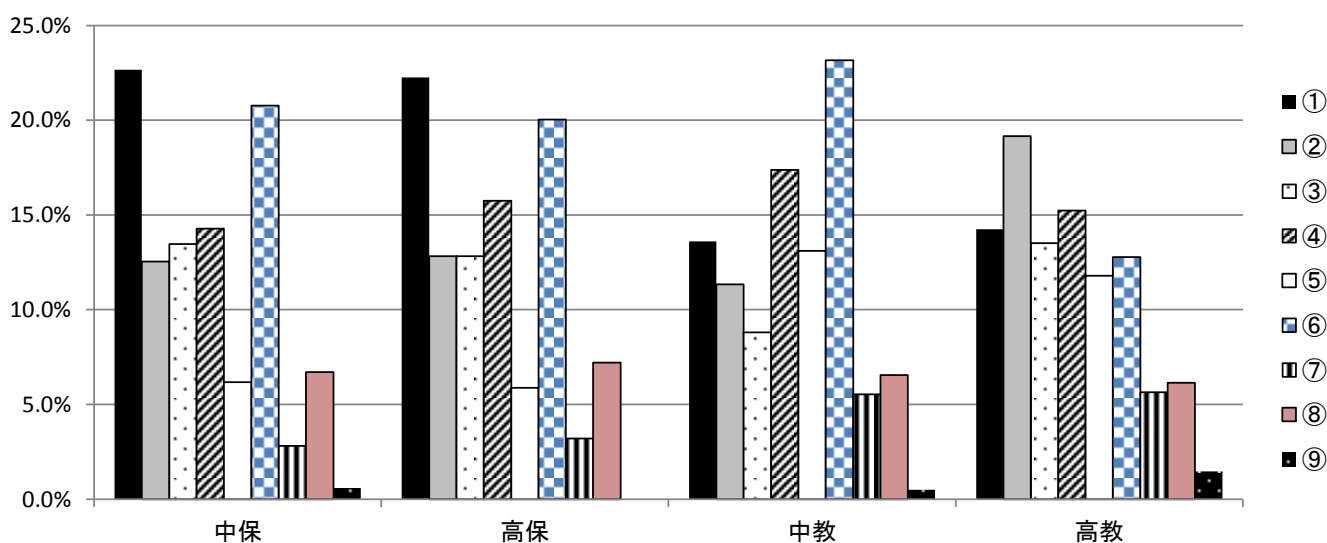
【中保, 高保, 中教】

・これからの定時制高校の役割について、あなたが重視するべきと思うものをお選びください。

【高教】

(2つまで選択)

	中保		高保		中教		高教		合計	
①勤労青少年の学びの場	338	22.7%	250	22.3%	54	13.6%	58	14.3%	700	20.5%
②不登校生徒の学び直し	187	12.5%	144	12.8%	45	11.3%	78	19.2%	454	13.3%
③高校中途退学者の学び直し	201	13.5%	144	12.8%	35	8.8%	55	13.5%	435	12.7%
④基礎学力の定着	213	14.3%	177	15.8%	69	17.4%	62	15.2%	521	15.2%
⑤対人能力の向上	92	6.2%	66	5.9%	52	13.1%	48	11.8%	258	7.5%
⑥将来仕事をする上で必要な力の習得	310	20.8%	225	20.0%	92	23.2%	52	12.8%	679	19.9%
⑦生活習慣の定着	42	2.8%	36	3.2%	22	5.5%	23	5.7%	123	3.6%
⑧個性を生かした能力開発	100	6.7%	81	7.2%	26	6.5%	25	6.1%	232	6.8%
⑨その他	9	0.6%	0	0.0%	2	0.5%	6	1.5%	17	0.5%
計	1,492	100.0%	1,123	100.0%	397	100.0%	407	100.0%	3,419	100.0%



○全体では、「①勤労青少年の学びの場」の回答が最も多く、続いて「⑥将来仕事をする上で必要な力の習得」、「④基礎学力の定着」となった。

○中学校教員では「⑥将来仕事をする上で必要な力の習得」が、高校教員では、「②不登校生徒の学び直し」の回答が一番多い。

(その他の主な内容)

#### 中学生保護者

- ・今の時代に定時制は不要だと思う。不登校生徒や低学力の生徒、発達障害のある生徒等の受け皿が必要であれば、全日制でそうした高校をつくるべきではないか。
- ・多様な個性や環境を持つ生徒の受け入れの場。
- ・定時制は学力が低い子が通学しているイメージが強い。個々に理由は様々だとは思いますが、そのイメージを払拭しないといけないと思う。専門職や、大学への進学に対する進路指導が充実すると良いと思う。
- ・貧困や不登校であっても大学進学チャンスがあってほしい。夜間大学や通信大学等学びの情報を生徒に提供してほしい。

#### 中学校教員

- ・生涯学習の場
- ・外国人労働者の学びの場

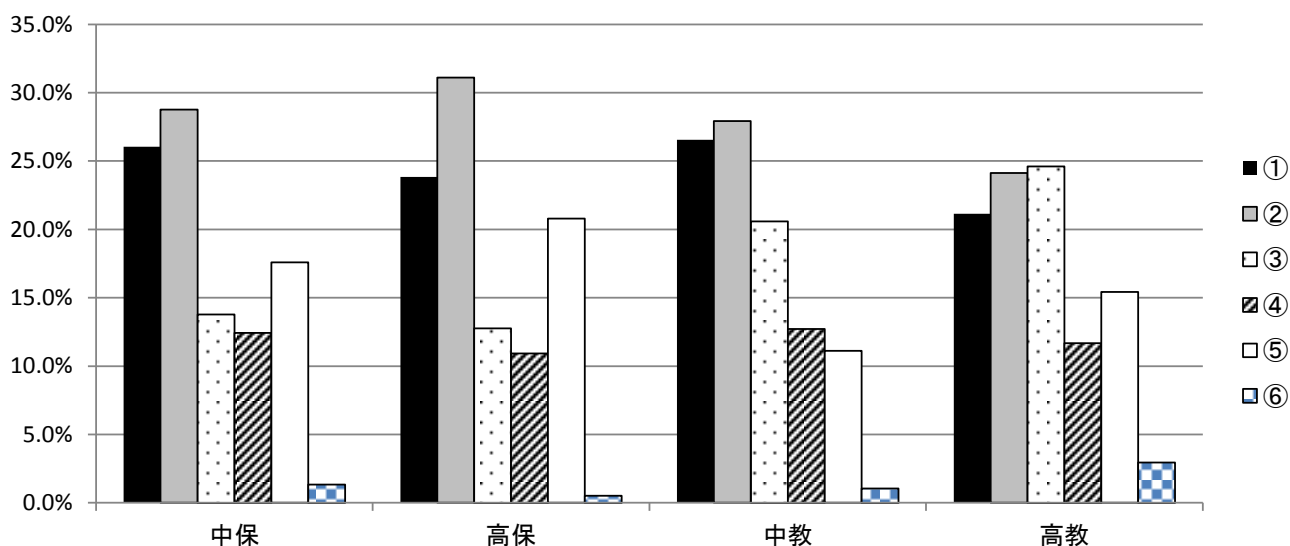
#### 高校教員

- ・ライフプランニングに関する取り組みの充実。
- ・社会人として様々なことを行うための基礎となる教養を身につけさせること。
- ・生涯学習の場としての役割を兼ね、門戸を大きく開く。
- ・社会教育や専門教育の学び直しの場。米国の大学院やコミュニティスクールの縮小地域版。
- ・基礎学力の定着と仕事との両立。

- 14・通信制高校は、主に通信教育による教育を行う高校で、週に1回のスクーリング（学校で直接指導を受けること）があります。通信制高校をより良くしていくためには何を重視すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。【中保、高保、中教】
- ・これからの通信制高校の在り方に関して、あなたが重視すべきと思うものをお選びください。【高教】

（2つまで選択）

	中保		高保		中教		高教		合計	
①生徒の学習意欲を持続させるための体験学習等の充実	364	26.0%	259	23.8%	98	26.6%	85	21.1%	806	24.8%
②就職につなげるためのキャリア教育の充実	402	28.8%	338	31.1%	103	27.9%	97	24.1%	940	28.9%
③スクーリング拠点の増設	193	13.8%	139	12.8%	76	20.6%	99	24.6%	507	15.6%
④定時制課程との連携による単位取得	174	12.4%	119	10.9%	47	12.7%	47	11.7%	387	11.9%
⑤社会人の生涯学習の場としての活用の展開	246	17.6%	226	20.8%	41	11.1%	62	15.4%	575	17.7%
⑥その他	19	1.4%	6	0.6%	4	1.1%	12	3.0%	41	1.3%
計	1,398	100.0%	1,087	100.0%	369	100.0%	402	100.0%	3,256	100.0%



○全体では、「②就職につなげるためのキャリア教育の充実」の回答が最も多く、続いて「①生徒の学習意欲を持続させるための体験学習等の充実」となった。

○高校教員では、「③スクーリング拠点の増設」の回答が最も多くなっている。



## (その他の主な内容)

### 中学生保護者

- ・小テストの実施など，自力で継続できる工夫。 ・幅広い学習への対応（教科の充実）。
- ・ネットを使った，興味が湧く授業の実施。 ・ネットやハードの充実 ・対人能力の向上
- ・集団コミュニケーションなどの能力を高め，共同して課題を克服する経験の構築。
- ・生徒個人の問題に寄り添ってくれるカウンセリングなどの充実。
- ・学び直しの充実 ・スクーリングで対応する教員の柔軟な指導力。
- ・通信教育とスクーリングの自由度を上げ，個々の意欲やスタイルに合わせた学習を継続できる場。
- ・通信制高校の生徒の属性や特性（集団生活が困難な生徒，全日制高校を中退して再就学した生徒？等）に応じた教育が必要。
- ・難関大学を目指した学習内容の充実。 ・シニア向け高校教育。

### 高校生保護者

- ・高校中退者，不登校者等の学び直しの場合。 ・指導教員のレベルアップ。 ・保護者への啓蒙。
- ・スクーリングの回数を増やし，対人関係の学びの場を増やす。
- ・私の周りでは高校中退者や対人に問題を抱えた者が通っていることから，心のケアを中心とした対応を充実させることが重要だと感じている。

### 中学教員

- ・不登校生徒の学び直しの場合 ・コミュニケーション能力の向上 ・基礎学力の定着
- ・進学希望者への学習指導

### 高校教員

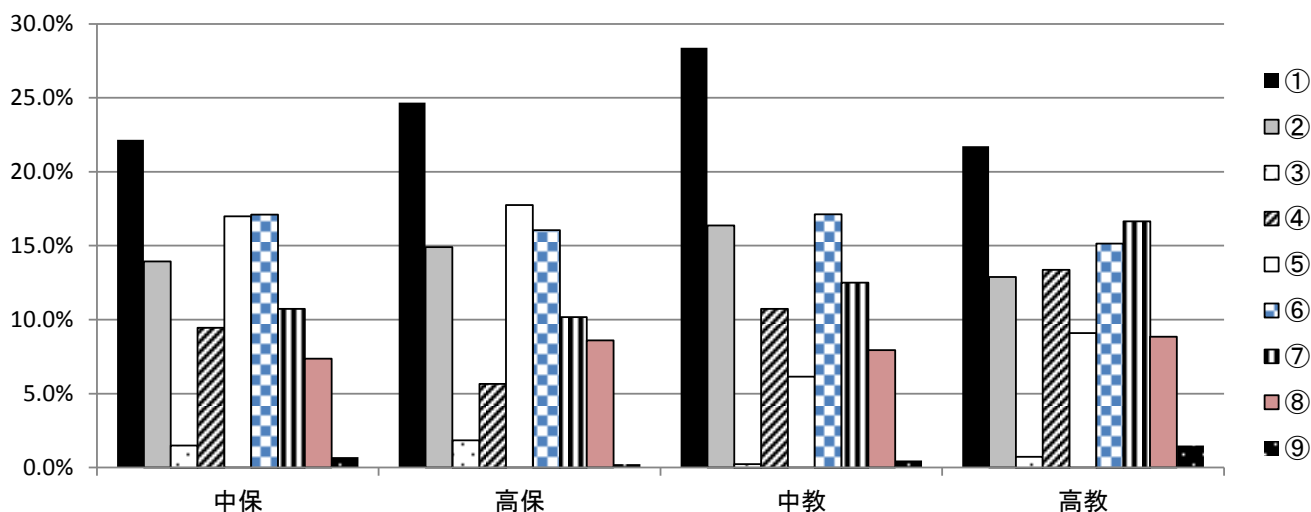
- ・特に引きこもり傾向のある生徒の社会生活との接点としての学習の場。
- ・不登校生徒の学び直しの場合，高校中途退学者の学び直しの場合。
- ・通学不能な学習者への高校教育提供の場。 ・集団生活の苦手な者の学習の場。
- ・カウンセリング機能の充実。 ・進学等の進路実現に向けた生活面や学習面でのサポート。
- ・通信制高校を増やす。理想は，北部，東部，中部，南部の全4校体制。
- ・基礎学力の保障と社会へ参画する姿勢。
- ・入学や転学要件（時期）などを大幅に緩和することによる高校中途退学者の受け入れ。
- ・高校卒業後の目先の進路先ではなく，一生も視野に入れ，きちんと現実の労働・雇用等をきちんと学ぶことのできるキャリア教育。
- ・不足するのが社会性・適応性だと思うので，社会人講話や企業インターンシップなど，生の社会人と接する機会を増やしたい。年代の異なる集団の中ではうまくやっていけるのではないか。

15・県立高校では、地域に開かれた高校づくりを推進しているところですが、県立高校と地域の連携を深めるための取り組みについて、どのようなものがよいと思いますか、あなたの考えに近いものをお選びください。【中保，高保】

・地方創生の観点も含め、県立高校と地域の連携を深めるための取り組みについて、どのようなものがよいと思いますか、あなたの考えに近いものをお選びください。【中教，高教】

(2つまで選択)

	中保		高保		中教		高教		合計	
①地元企業でのインターンシップ	334	22.1%	278	24.7%	111	28.4%	86	21.7%	809	23.6%
②自治体や企業との共同研究	210	13.9%	168	14.9%	64	16.4%	51	12.9%	493	14.4%
③幼稚園・保育園との交流	23	1.5%	21	1.9%	1	0.3%	3	0.8%	48	1.4%
④小・中学校との連携活動	143	9.5%	64	5.7%	42	10.7%	53	13.4%	302	8.8%
⑤大学等との連携活動	256	17.0%	200	17.7%	24	6.1%	36	9.1%	516	15.1%
⑥地域ボランティア活動	258	17.1%	181	16.1%	67	17.1%	60	15.2%	566	16.5%
⑦地域人材の学習活動への参加	162	10.7%	115	10.2%	49	12.5%	66	16.7%	392	11.5%
⑧学校から地域への情報発信	111	7.4%	97	8.6%	31	7.9%	35	8.8%	274	8.0%
⑨その他	11	0.7%	3	0.3%	2	0.5%	6	1.5%	22	0.6%
計	1,508	100.0%	1,127	100.0%	391	100.0%	396	100.0%	3,422	100.0%



○保護者，教員ともに「①地元企業でのインターンシップ」の回答が最も多く，回答率がそれぞれ20%を超えている。

○続いて中学生保護者，中学校教員では，「⑥地域ボランティア活動」，高校保護者では「⑤大学等との連携活動」，高校教員では「⑦地域人材の学習活動への参加」となった。

○「⑤大学等との連携活動」は，保護者の回答が中学高校ともに17%であるが，教員では10%未満で差がみられた。

(その他の内容)

**中学生保護者**

- ・多賀城高校における防災に関する中学校とのコラボレーションはよい取り組みであると感じた。
- ・シルバーによる学力低下気味の子の無料寺子屋。
- ・在校生以外への公開講座開設あるいは充実。
- ・高校卒業後の進路先の情報提供。
- ・画一化の必要はなく、その学校が考えていけばよいと思う。
- ・学習以外求めている。
- ・自由な風潮。学校のブランド化と言わないこと。
- ・特に学校周辺の地域は、地元の学校が良いものであってほしいと願っている。地域の声にもっと耳を傾けるべきだと思う。

**高校生保護者**

- ・地域の町内会活動への参加
- ・地域に開かれた学校づくりの必要性の認識を浸透。地域が何を望んでいるのか調査・検討してみてもどうか。
- ・親としては、どのような取り組み内容でも、子供たちが宮城県という地域の特性を学んだり、将来の職業・進路選択につながる一つの機会にしてもらえればよいと思う。

**中学教員**

- ・地域の人たちの学校行事への参加。
- ・利府高校の地域貢献活動を参考にしてほしい。

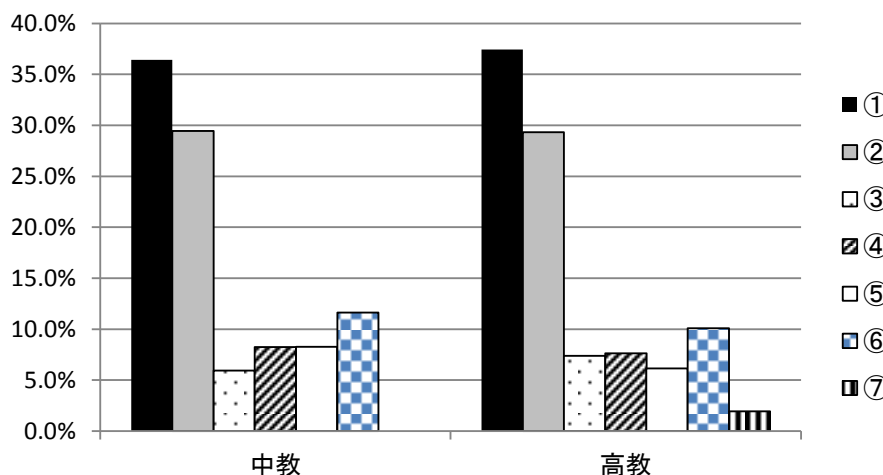
**高校教員**

- ・生涯学習のための学校開放や学校開放講座。
- ・自治体や企業・大学・地域団体等との連携活動。
- ・幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校、大学間での学習交流及び地域、企業との人材交流と学習活動への参加を促す。
- ・学区制を復活し、地元の中学生が地元の高校へ入学するようにならないと地域との連携をしてもあまり意味がない。
- ・地方創生の観点から専門高校の重要性を考える必要があると思う。
- ・各高校の実情に応じて既に行っている。地域創生とかいう前に、高校生だからこそできる地域に喜んでもらえることをできる範囲で行っている。それを生徒・職員が代わっても継続、できれば発展させるように現在、努力中である。

16 中学校から高校までを一つの学校として一体的に教育を行う中高一貫校の役割について、あなたが重視するべきと思うものをお選びください。【中教，高教】

(2つまで選択)

	中教		高教		合計	
①6年間を通した進路指導、生活指導等による安定的な学校生活	141	36.4%	152	37.4%	293	36.9%
②学年横断的な活動をととした社会性や人間性の育成	114	29.5%	119	29.3%	233	29.4%
③大学受験を目標とする学習内容の充実	23	5.9%	30	7.4%	53	6.7%
④民間企業や大学との連携による発展的な学習の実践	32	8.3%	31	7.6%	63	7.9%
⑤世界を視野に入れたグローバルな視点をもった人材の育成	32	8.3%	25	6.2%	57	7.2%
⑥地域の発展に貢献しリーダーシップを発揮できる人材の育成	45	11.6%	41	10.1%	86	10.8%
⑦その他	0	0.0%	8	2.0%	8	1.0%
計	387	100.0%	406	100.0%	793	100.0%



○中学教員，高校教員ともに「①6年間を通した進路指導，生活指導等による安定的な学校生活」，「②学年横断的な活動をととした社会性や人間性の育成」，「⑥地域の発展に貢献しリーダーシップを発揮できる人材の育成」の順に回答が多い。

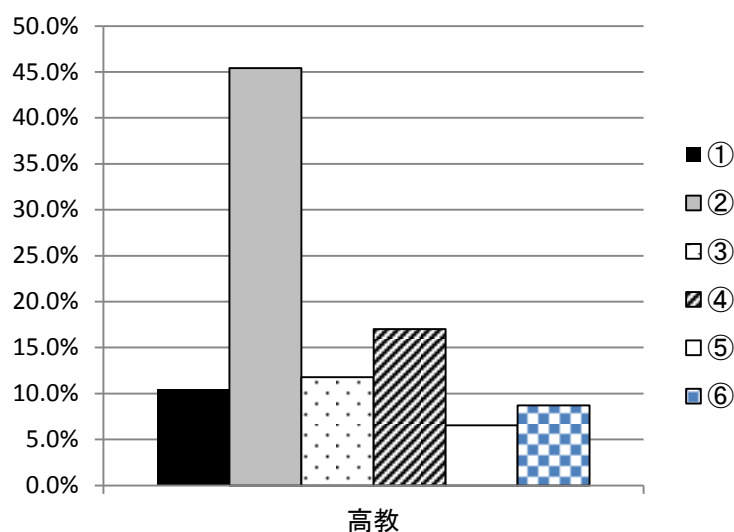
(その他の回答内容)

- ・途中でついていけなくなった生徒にも手厚くサポートし、スモールステップで個々の力を伸ばす体制が必要だと思う。
- ・高校卒業後の目先の進路先ではなく、一生も視野に入れ、きちんと現実の労働・雇用等をきちんと学ぶことのできるキャリア教育（6年間履修，学校設定科目であれば尚可）。
- ・自分の将来について考えたり技能を高めたりする余裕を持った時間。
- ・生徒の個性や創造性を伸ばす学習内容の充実。
- ・しっかりと基礎基本の定着から，段階を踏んで発展させていく学習活動。
- ・生徒の成長をどのように見守り，促していくか。
- ・同質化した生徒集団ではなく，様々な活動を6年間通してできる学校とし，社会の様々な場面で活躍できる人間力の育成が必要だと考える。
- ・大学受験を目的とするのではなく，キャリア指導の充実による「志」の定着により，志高い医師などが地域に増えてくれるとありがたい。宮城県では，進路指導とキャリア指導が同一に扱われているところが残念だ。

17 平成30年度より、高校で通級指導ができるようになります。具体的には加配教員の配置により、自立活動での個別もしくは小集団指導が可能になりますが、高校での通級指導について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。【高教】

(1つ選択)

	高教	
①個別の指導を必要としている生徒がいるので、ぜひ本校でも通級指導を行いたい	24	10.5%
②まだ分からないことが多いので、研修をして実施する方向で考えていきたい	104	45.4%
③通級指導を行いたいですが、単位の設定などが難しいので、一步踏み出せない	27	11.8%
④生徒の自尊感情の課題があるので、通級指導の実施は難しいと思う	39	17.0%
⑤個別の指導が必要な生徒はいないので、実施の必要はない	15	6.6%
⑥その他	20	8.7%
計	229	100.0%



○「②まだ分からないことが多いので、研修をして実施する方向で考えていきたい。」の回答が45.4%と最も多く、「①個別の指導を必要としている生徒がいるので、ぜひ本校でも通級指導を行いたい」の回答と合わせると55.9%となり、全体の過半数を占めた。

(その他の主な内容)

【加配教員や教室確保などの体制整備面】

- ・通級指導は必要であると思うが、教員の負担に問題がある。
- ・加配教員数が不明な点や教室の確保など実施は難しいと思う。
- ・教員増加，教育へかける財源を考えてほしい。
- ・教員の職務内容や体制の整備が不可欠である。
- ・自立活動や合わせた指導の必要がある生徒は改めて支援学校への進学を考える必要がある。高校での通級指導は現状（教員数や教室数など）のままでは難しい。
- ・通級指導を行うといった際に，加配教員の充実は必須であり，その他施設の充実も必要不可欠とされる。また，実技を伴う授業に関しても展開・評価の仕方をどのように構成したらよいかなど具体例があると参考になる。
- ・様々なリスクを想定した場合に，いくら加配教員が配置されるとしても，教室の数や教員の数等，対応することが現実的に不可能となる。特別支援学校や通信制学校などと役割を分担するなどをして，一つの学校における役割を増やしすぎない方が，結果的に生徒のためになると感じる。
- ・個別具体の事例に関してアドバイスができるようなスーパーバイザー的立場の職員に随時サポートをしていただけるよう配慮願いたい。

【生徒や保護者の感情面】

- ・生徒の自尊感情の課題もあるが，保護者の感情面についての課題が，実施の際の難しさに影響するように感じる。
- ・生徒の自尊感情同様，保護者の自尊感情にも課題があるので，実施は難しいと思う。
- ・他の生徒との関係が難しいので実施は難しいと思う。

【授業の展開や指導について，その他】

- ・成績処理や実施基準の整備ができるか不安があり，実施は難しいと思う。
- ・通級指導すべき生徒に通級指導できるとは限らないので，どこまで有用であるか疑問が残る。
- ・教科・科目（学習内容）によっては，通級指導では対応できないものがある。したがって実施できないと考えている。
- ・高等学校での通級指導がイメージできない。チーム・ティーチングであるとか，現在「基礎・基本」「標準」と2つに分けている講座にもう一つ「スーパー基礎・基本」を作って通級と考えるのが妥当なのか。
- ・指導の必要がある生徒の拾い上げが必要と考える。どこまでを基準とし，その分の授業の履修認定をどのように行うのかという点，教職員の理解向上と実践的指導力の向上，アセスメントの必要性，個別の教育計画及び指導計画の策定に課題があると思う。・特別支援学校においては通級指導の必要のある高等学校との連携を密にし，効果的な助言ができるよう体制の整備をしていただきたい。
- ・本校は中学時代に通級指導を必要とする生徒が多く，もし行った場合は多人数から少人数を抜き出す形にならないと思われる。どのような形で行えるか模索中である。
- ・中学時に通級指導を受けた生徒がどの学校にどの位存在するのかのデータを基に，必要と思われる学校での実施を検討してほしい。
- ・本校では既に通級指導のような状態である。クラスの2割くらいが手帳や診断書を持つが，難なく一緒に生活している。どんどん進めるべきではないか。